



スマートな電気エネルギーシステムとそれを支える要素技術(生成と消費)

日時

2013年12月10日(火)
13:30~

会場

早稲田大学研究開発センター120-5号館
ASMeW121会議室

主催

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム

開催趣旨

今や地球環境における課題として、電気エネルギーの生成・蓄積・制御・消費の全プロセスに革新的技術が求められています。早稲田大学では早くからこれらに着目し、関連する技術の開発を進めてまいりました。本年2月には「蓄積」と「制御」にフォーカスしたシンポジウム「スマートな電気エネルギーシステムとそれを支える要素技術(蓄エネと制御)」を開催し盛況のうちに終えることができました。2013年度につきましても続編として「生成」と「消費」にフォーカスしたシンポジウムを開催いたします。ここでは、この分野の基本的課題と最先端の成果を紹介するとともに、皆様の今後の方向を探る議論をしたいと考えております。

演題/講演者

キーワード

13:30-13:40

開会の辞

大林 秀仁(株式会社日立ハイテクノロジーズ/ ナノテックフォーラム会長)

●産学連携

13:40-14:20

講演I 「国のエネルギー政策と国際標準」

中西 宏典(経済産業省大臣官房審議官 エネルギー・技術担当)

●脱化石・原子力
●環境発電技術
●国際標準

14:20-15:00

講演II 「有機薄膜太陽電池開発の最前線と課題」

古川 行夫(早稲田大学先進理工学部 化学・生命化学科 教授)

●有機半導体
●共役高分子
●有機・無機ハイブリッド
●フレキシブルデバイス

15:00-15:20

休憩

演題/講演者

キーワード

15:20-16:00

講演III 「半導体ナノテクノロジーとその応用」

堀越 佳治(早稲田大学先進理工学部 電気・情報生命工学科 教授)

●半導体ナノ構造の製作
●量子井戸
●量子ドット
●太陽電池

16:00-16:40

講演IV 「電力エネルギーのスマートな消費

—早稲田大学における小型バス電動化研究の紹介—

紙屋 雄史(早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授)

●電気自動車
●ワイヤレス給電装置
●リチウムイオンバッテリー
●乗車環境改善・周囲環境負荷抑制・低炭素化推進

17:00~

交流会

参加費

ナノテクノロジーフォーラム会員: 無料
一般: 3,000円

交流会費

2,000円

申込方法

参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先・交流会の出欠を事務局までお申込みください。
※締切 2013年12月6日(金)

申込先

早稲田大学ナノテクノロジーフォーラム事務局
東京都新宿区早稲田鶴巻町513番地 早稲田大学研究開発センター120-5号館
TEL:03-5272-6291 FAX:03-5286-9076
E-mail:nano-forum@list.waseda.jp

会場へのアクセス



東京メトロ東西線「早稲田駅」2または3a出口徒歩3分